

地域への愛着を基盤とした 学校・地域安全モデル事業

視察研修のしおり

安全と愛着を育むまちづくりへのヒント

地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業

視察研修のしおり：安全と愛着を育むまちづくりへのヒント

連絡先：認定NPO SEEDS Asia

078-766-9412 / rep@seedsasia.org

令和7（2025）年8月発行

趣旨・謝辞

このたびは、鳥羽市との共同事業「地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業」の一環として実施する視察研修にご参加いただき、誠にありがとうございます。

本研修では、セーフコミュニティの国際認証を取得している二つのまち、京都府亀岡市と大阪府松原市を訪問します。両市は、防災、交通安全、犯罪予防、健康づくりなど、複合的なリスク管理に向けた取組を、市民・学校・行政が一体となって進めています。その根底には、「事故やけがは偶然ではなく予防できる」という理念があります。

こうした総合的な取組は、安全・安心の向上に加え、子どもたちの地域への信頼、誇りや愛着を育んできました。結果として、地域の魅力が高まり、人口減少という課題にも好影響を与えています。

今回の視察では、行政との連携と現場の実践、その検証や改善のプロセスを学び、各地域や学校での活用方法を考える機会としていただければ幸いです。皆さまにとって、この研修が学校と地域の連携による鳥羽の安全・安心なまちづくりと共に、子どもたちのまちへの愛着を高める大切な一歩となることを願っております。

本研修にあたり、ご参加・ご協力いただきましたすべての皆様に、心より感謝を申し上げます。

令和7年8月

認定特定非営利活動法人 SEEDS Asia

事業背景・本研修の目的

事業の背景



1. 少子高齢化・人口流出

地域の担い手不足



2. 地震・津波、気候変動

災害リスク



校区拡大・子どもを取り巻く事件・事故

リスクの複合化

地域の持続性を高めると共に市民の防災・安全の推進に資することを目的として実施する
「地域への愛着を基盤とした地域と学校の連携による学校安全事業」

本研修の目的

本視察研修は、複合的なリスク管理と共に進める人づくり・まちづくりへの総合的アプローチの先進事例の学びを通じて、**学校と地域の連携による危機管理に係る対応・体制の充実を図るとともに、子どもたちの地域への愛着を育む活動に活かすこと**

目次

1. 全体スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・	4
2. 視察先地図・・・・・・・・・・・・・・・・	6
3. 国際安全都市宣言・・・・・・・・・・・・・・・・	7
4. 視察先 1：松原市・・・・・・・・・・・・・・・・	8
5. 視察先 2：亀岡市・・・・・・・・・・・・・・・・	18
6. 講師としてご協力いただいた皆様・・・・・・・・	27
7. 鳥羽市からの参加者一覧・・・・・・・・	28
8. 資金提供団体実行団体参加者一覧・・・・・・・・	29
9. その他確認・参考事項・・・・・・・・	30
10. 緊急連絡・・・・・・・・	34

全体スケジュール（1日目）

旅程:

令和7年8月19日（火）～8月20日（水）

8月19日（火）

時刻	場所	メモ
08:50	鳥羽バスセンター集合→乗車	近くに停車中のバスに乗車
09:10	鳥羽市保健福祉センターひだまり前 駐車場	
09:15	鳥羽市保健福祉センターひだまり前駐車場 出発	（伊勢道）IC伊勢一名阪国道
10:55	道の駅 針テラス（休憩）	（西名阪）松原IC
-11:10	奈良大和高原	
12:00	松原市 市役所駐車場	
		〒580-0044 大阪府松原市田井城 3 丁目104-2 電話番号 072-330-0326 https://shisetsu.mizuno.jp/m-7466
12:05	まつばらテラス着 （兼昼食会場）	3階会議室1（20名）、和室（10名）に分かれて昼食（お弁当）
13:15	まつばらテラス 講義会場	3階多目的室
13:30	ごあいさつ	
-15:30	①前半： インターナショナルセーフスクールとはなにか	松原市教育長 美濃様 （社）日本セーフコミュニティ推進機構 公認SC認証審査員 白石様
	②後半： 松原市における取組	松原市教育委員会： 学校教育部 次長：森様、 教育推進課 課長： 長尾様、課長補佐：奥長様
	<小休憩>	
	③質疑応答	
16:00	まつばらテラス出発	中央環状線 松原ICー （近畿道/ 京都縦貫道）篠IC下車
	サンロイヤルホテル亀岡駅前	亀岡駅北口側で降車徒歩1分
17:30	ホテルチェックイン	
17:45	ホテル発	徒歩10分～15分
	一日目振り返り&懇親会	京都亀岡 楽々荘
18:00	印象に残ったこと、今後検討したい新しい視点や活動について各自共有いただきます	〒621-0861 京都府亀岡市北町 4 4 電話番号： 050-1720-2839 https://www.gankofood.co.jp/shop/detail/ya-kameoka/
20:00	現場解散	

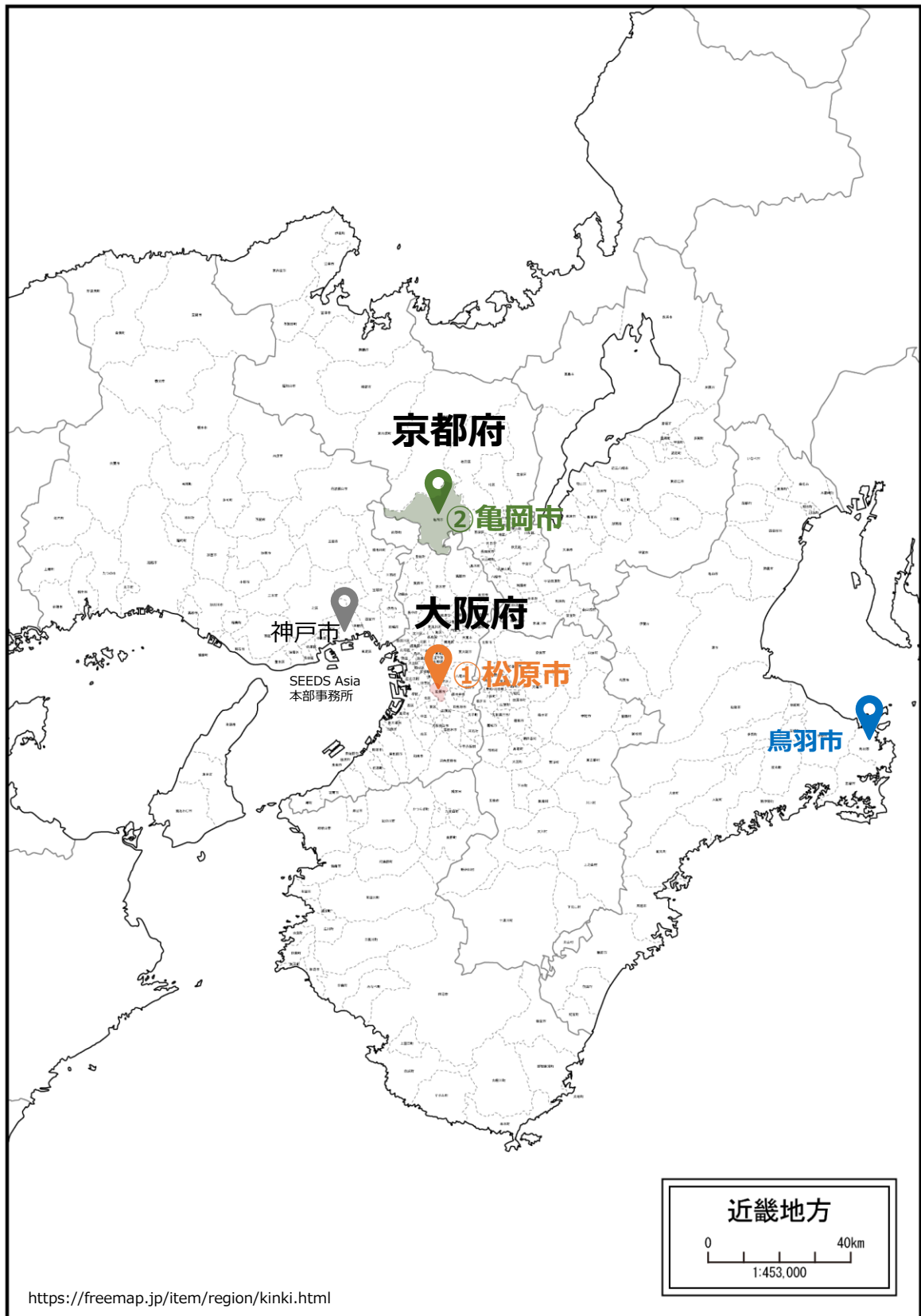
全体スケジュール（2日目）

8月20日（水）

時刻	項目	メモ
各自	朝食	06:45以降可能
08:30	ロビー集合	※各自チェックアウトを済ませ、荷物を持ってバスへ
08:40	バス乗車、出発	
08:50	亀岡市役所着	京都府亀岡市安町野々神8番地
9:00-10:30	講義開始 ①講義：セーフコミュニティ（SC）の意義 ②講義：亀岡市での取り組みについて ③質疑応答	（社）日本セーフコミュニティ推進機構 公認SC認証審査員 白石様 亀岡市自治防災課： 宮川様、泊（とまり）様 官民連携のSC推進活動の内容： 実施体制/実施内容/実施する上で作成しているツール/持続化に向けた工夫・取り組み：資金調達など 実際の効果・成果・課題・教訓・展望：モニタリングの手法や指標で、どのような変化が、どのように可視化されているのか、など
10:30 -11:45	篠町地区 住民代表 （+バスでたわわの朝霧駐車場→徒歩で現地視察）	井内（いのうち）様 （社）日本セーフコミュニティ推進機構 公認SC認証審査員 白石様
12:00	亀岡発 昼食会場着：レストラン嵐山	（京都縦貫道）篠IC-R9
12:45	※二日目の研修・全体で印象に残ったこと これから取り組みたい視点や活動について 各自記入・共有いただきます 時間があれば一旦自由解散	〒616-8384 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺造路町33 電話番号：075-872-5111 https://www.r-arashiyama.com/
14:30	嵐山出発	京都東IC
16:00 -16:20	土山SA（休憩）	新名神／伊勢道
18:00	鳥羽市着 出発地2か所にて解散	

おつかれさまでした😊😊😊 ご自宅までどうかご安全に！

視察先地図



「国際安全都市」宣言

だれもが安心安全で暮らせるまちづくりは、世界共通の願いである。

国際基準に基づいた安心安全で暮らせるまちづくりは、1970 年代にスウェーデンの地方都市から始まり、その後、WHO(世界保健機関)が推奨する「セーフコミュニティ」という認証制度として世界各地に取り組みが広がっている。

私たちは、セーフコミュニティによる国際基準に則り、「事故」や「けが」など、あらゆる危害は未然に防ぐことができるという理念のもと、「自分たちのまちは自分たちで守る」というオーナーシップの精神で市民協働のまちづくりを進めている。

私たちは自らの実践を他の地域と共有し、安心安全な社会の形成に向けて貢献するため、このセーフコミュニティに取り組む私たちのまちを「国際安全都市」とすることを宣言する。

令和7年1月14日

京 都 府 亀 岡 市 長 桂 川 孝 裕

青 森 県 十 和 田 市 長 小 山 田 久

大 阪 府 松 原 市 長 澤 井 宏 文

【参考・出典】

- 1) 亀岡市ホームページ セーフコミュニティについて
https://www.city.kameoka.kyoto.jp/uploaded/life/70479_165347_misc.pdf

視察先 1 : 松原市



会場：まつばらテラス（輝）

■ 人口	116,006人
■ 世帯数	59,544世帯
■ 高齢化率	29.83%

（2025年7月末時点 住民基本台帳）

国際認証制度「セーフコミュニティ」を取得

またWHO（世界保健機関）が推奨する

安心・安全なまちづくりの国際認証制度「セーフコミュニティ」を大阪で初めて取得。

松原市では6つの重点テーマを軸に具体的な活動を展開しています。

子どもの安全

0～18歳までの
救急搬送件数



35.1%
減少！

（出典：救急搬送データ）

高齢者の安全

認知症サポーター養成講座
の受講者数



13.6倍
増加！

（出典：松原市高齢介護課）

交通安全

自転車事故件数



24.8%
減少！

（出典：警察統計）

犯罪の防止

刑法犯認知件数



60.3%
減少！

（出典：警察統計）

自殺予防

ゲートキーパー養成講座
受講者数



27.1倍
増加！

（出典：松原市人権交流室）

災害時の安全

地域防災ネットワークプロジェクト
訓練参加人数



約27,360人
参加！

（出典：松原市危機管理課）

※平成23年（2011年）から令和5年（2023年）まで12年間の推移

【参考・出典】

- 1) 松原市ホームページ 人口統計（令和7年7月末現在、令和6年7月末現在）年齢別
<https://www.city.matsubara.lg.jp/docs/2041086.html>

■ 松原市の歴史・まちの姿 1)

松原市域は、古くから人々が暮らしてきたことが多くの遺跡により明らかとなっています。弥生時代に農耕生活が始まり、古墳時代には灌漑用水路が作られて大規模な水田が開拓されました。倭の五王時代（古墳時代中期）には、竹内街道が通り、難波より飛鳥への交通の要所として栄え、進んだ大陸文化が伝わり、文化の高い地域となりました。

第18代反正天皇がこの地に丹比柴籬宮(たじひしばがきのみや)をおき、わが国の政治・経済・文化の中心地となり、「五穀がよく実り、人々にはぎわい、天下太平であった」と記されています。そののち丹比柴籬宮跡は、「松生いし丹比の松原」といわれるようになり、松原の地名の由来はここから名付けられたと伝えられています。奈良、平安時代には、さらに交通網（街道）が整備されました。

宝永元年（1704年）には新大和川が完成し、その結果、旧大和川筋の水害が軽減しましたが、新大和川筋は豊かな村が狭められ、良田を失い、水害がたびたび起こりました。また、西除川の流路をかかえ、川跡を新田に開発しなければならませんでした。

昭和30年2月1日、前2町3村が、町村合併促進法により合併して、府内21番目の市として、松原市が誕生しました。その後、美原町の丹南(たんなん)、堺市の河合(かわい)を合併し、そして若林の一部が八尾市に編入されて現在にいたります。

■ 松原市の人口特徴 2)

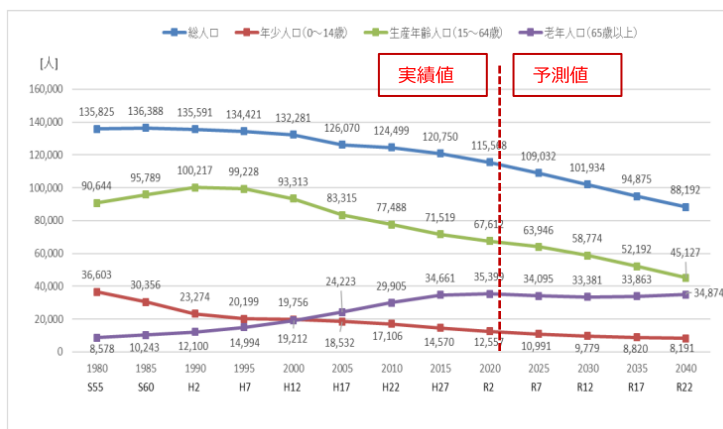


図1: 松原市の人口推移・推計
(朱色点線・朱枠はSEEDS Asia追記)

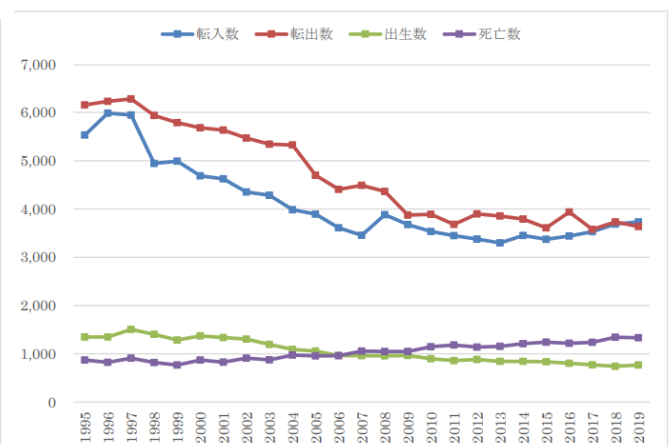


図2: 松原市の出生数・死亡者数・転入数・転出数の推移

- 国立社会保障・人口問題研究所の予測では、将来的にも人口減少が進行し、2040年（令和22年）では88,192人になるとされています。
- 1995年（平成7年）から恒常的に転出超過が起こっており、2007年（平成19年）から死亡数が出生数を上回るようになり、人口減少に拍車をかけています。
- ただし、2008年（平成20年）以降、転出超過者数は減少傾向となっており、2019年（令和元年）には転入超過へと転じました。

【参考・出典】

1) 松原市ホームページ：まちの姿

2) 松原市ホームページ：松原市人口ビジョン（令和2年度改訂版）https://www.city.matsubara.lg.jp/fs/1/8/9/8/5/6/_/vision.pdf

■ 松原市教育大綱：社会全体で人を育て、人が輝くための教育¹⁾

基本理念：未来を切り拓く「人間力」の育成

今後の社会を構成する当事者として、責任ある行動をとり、自分のよさや可能性を認識し、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、様々な社会的変化を乗り越える力、それらを総合し、「人間力」と表現します。

目指す子ども像：

- ・将来への夢を持ち、地道に努力を重ねる子ども
- ・運動や学習、何事にも意欲的に取り組む子ども
- ・自分から挨拶できる等、豊かな人間関係をつくれる子ども
- ・自分と家族、他者（ひと）を大切にできる、思いやりのある子ども
- ・故郷まつばらを誇れる子ども



基本方針：

（１）「確かな学力」と「生きる力」の育成

学力の向上：知識・技能の習得だけでなく、思考力・判断力・表現力を伸ばす取り組みを学校全体で計画的に実施。家庭学習や生活習慣の定着も促進。

豊かな人間性の育成：規律・規範の確立、道徳教育・キャリア教育を通して、人権尊重やいじめ防止に努める。不登校の未然防止と継続的支援も強化。

健康教育と体力向上：発達段階に応じた健康教育、運動機会の確保、安心・安全な給食の提供と食育の充実。

（２）安心・安全な学校づくり

事故・暴力の予防：セーフコミュニティ理念のもと、児童生徒主体の安全活動（インターナショナルセーフスクール）や施設の予防保全を実施。

信頼される学校運営：教職員の資質向上に努め、地域や保護者に開かれた学校づくり。

（３）地域と協働する学びの支援

コミュニティ・スクールの推進：学校と地域住民が協働し、教育活動や地域活性化を進める。

子どもを守る地域づくり：児童虐待などを見逃さない体制づくり、専門家・関係機関との連携強化。

（４）郷土愛と生涯学習の推進

交流と学びの機会提供：市民ニーズや人権に配慮し、生きがいと健康づくりにつながる学びを提供。学びを社会に還元できる環境整備。

学習施設の活用：図書館・公民館などを活かし、教育・文化の発展とまちづくりに寄与。

文化財保護と郷土理解：文化財の保存、親しむ機会の拡充、愛護意識の啓発。

【参考・出典】

1) 松原市教育大綱（二次元コード）
https://www.city.matsubara.lg.jp/fs/2/2/9/7/6/3/_/R6kyoikutaiko.pdf

セーフコミュニティとは？

セーフコミュニティとは「事故やけがは原因を調べ対策を行うことで予防できる」という考えのもと様々なデータを活用しながら、地域住民、関係機関、行政が一緒になって進める安心・安全なまちづくりの取り組みです。

● セーフコミュニティのキーワードは「協働」と「検証」

セーフコミュニティに取り組む上でのキーワードは「協働」と「検証」です。

はじめに事故やけがを様々な統計データ等から分析し、その原因を明らかにします。

そして原因がわかったら、けがや事故を減少させるために必要な対策を考え、地域住民や関係機関、行政等が力を合わせてその対策を実施することで安心・安全なまちを目指します。

● セーフコミュニティの仕組み



セーフコミュニティの推進体制は？

松原市では6つの重点テーマごとに設置された対策委員会により、具体的な活動を進めるとともに、外傷調査評価委員会により、データ収集や活動への評価を行っています。



はじめよう!つづけよう!「セーフコミュニティ」

事故やけがにあわないように、一人ひとりが「予防」「備え」の意識をもって生活することがセーフコミュニティにつながります。もっと詳しく知りたい!どうすればいいの?という方は出前講座も行っていますので、お気軽にご連絡ください。

セーフコミュニティについてのご質問・お問い合わせ先
松原市役所 市民協働課 ☎072(334)1550
<https://www.city.matsubara.lg.jp>



松原市 セーフコミュニティ概要 パンフレット¹⁾

【参考・出典】

1) 松原市ホームページ「セーフコミュニティ」とは <https://www.city.matsubara.lg.jp/docs/page16198.html>



世界初！インターナショナルセーフスクール市内全校認証

更新日：2022年1月31日

インターナショナルセーフスクール（ISS）とは、体および心のケガの原因となる事故、いじめ、暴力を予防することによって、安全で健やかな学校づくりを進める活動であり、WHOが推奨する国際認証の一つです。

松原中学校区（松原小学校、松原西小学校、河合小学校、松原中学校）、松原第二中学校区（天美南小学校、天美北小学校、松原第二中学校）、松原第五中学校区（天美小学校、天美西小学校、松原第五中学校）、松原第六中学校区（松原南小学校、松原東小学校、松原第六中学校）は平成30年度に着手宣言を行い、安心・安全な「学校づくり」にむけ、学校・保護者・地域・行政が共同で取組みを進めてまいりました。

コロナ禍においても充実した取り組みと事前指導をふまえ、令和3年11月、令和4年1月にセーフスクール認証審査員のグレン・バーバーさん、白石陽子さんをはじめ、多くの認証審査員の人々をオンラインでつなぎ現地審査を受けました。

各校とも、児童生徒が主体的に取り組んでいることについて高い評価をいただき、松原第三中学校区、松原第四中学校区（松原北小学校、三宅小学校、松原第四中学校）、松原第七中学校区（恵我小学校、恵我南小学校、松原第七中学校）に引き続き、インターナショナルセーフスクールの国際認証を得ることができました。松原第三中学校区（布忍小学校、中央小学校、松原第三中学校）においては、充実した取り組みから見事再認証を得ることができました。

このことにより、平成27年度から取り組んできたインターナショナルセーフスクールの取り組みは、令和4年1月28日の合同認証式をもって、市内22校すべての小中学校で国際認証を取得することができました。市内すべての小中学校が国際認証を取得するのは世界初であり、児童生徒が主体となって安心・安全な学校づくりを進めている日本一の街であることが証明されました。

今後もさらに取り組みを充実させ、安心・安全な学校から校区、街づくりへとつなげてまいります。

合同認証式の様子を写真で紹介します。



このページに関するお問い合わせ先

松原市 教育委員会事務局学校教育部 教育推進課

教育委員会からのお知らせ

ライフ・キャリア図鑑
「COMPASS」の開発を進めています

ライフ・キャリア図鑑
「COMPASS」がキャリア教育
推進連携表彰を受賞しました！

令和6年度松原市アドバンス
ト・インターンシップ（AIM）
成果発表会を開催しました

令和6年度使用 小・中学校の教科書

令和7年度使用 小・中学校の教科書

令和7年度松原市アドバンス
ト・インターンシップについて

教育委員会所管条例等の制定・
改廃情報

美濃教育長が再任されました

小学校通学路の安全対策【子ども安全見守り隊】

市立小・中学校におけるブロック
塀の安全点検の実施について

【松原市立学校の教職員の皆様へ】
ハラスメントのない快適な
職場環境づくりにむけて

松原市立小中学校におけるメッ
セージ電話対応について

これからの学校教育基本構想検
討委員会

松原市立小中学校通学区区域審議

【参考・出典】

- 1) 松原市ホームページ：世界初！インターナショナルセーフスクール市内全校認証
<https://www.city.matsubara.lg.jp/docs/page17377.html>



松原市でのメモ



松原市でのメモ



松原市でのメモ



松原市でのメモ



松原市での振り返り

お名前：

☐ 学校教職員 ☐ CS代表者 ☐ 行政関係者

キーワード

新たな知識・認識、印象に残ったこと

自分の学校・地域で実践したい/検討したいと思ったこと

視察先2：亀岡市



会場：亀岡市庁舎 6階
602,603会議室

■ 人口	85,801人
■ 世帯数	40,580世帯
■ 高齢化率	31.82%
(2025年7月1日時点 住民基本台帳 7月1日時点)	

“国内初”のセーフコミュニティ国内認証取得

亀岡市は、セーフコミュニティの取組を開始した当初、篠町をモデル地区に指定し、自治会を中心に安全安心な取組を進めることで、国内で初めての認証を平成20年3月に取得しました。

2回目の認証(平成25年2月)からは、様々な外傷データをもとに設置された対策委員会において、予防活動の検討・実施を進め、新たな形で再認証を取得しました。

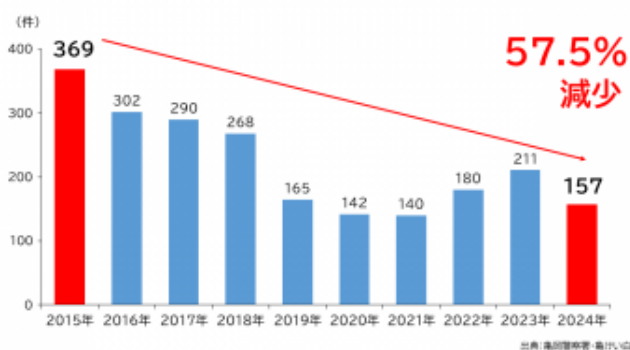
3回目の認証(平成30年11月)では、従来の取組を発展させ、市民自らが安全・安心な活動に参加できる市民参加型の事業を展開し再々認証の取得に至りました。

4回目の認証(令和5年12月)では、新たに設置された対策委員会の取組やコロナ禍での活動の工夫を踏まえ、より取り組みやすい、新たな「国内認証」を日本で初めて取得しました。

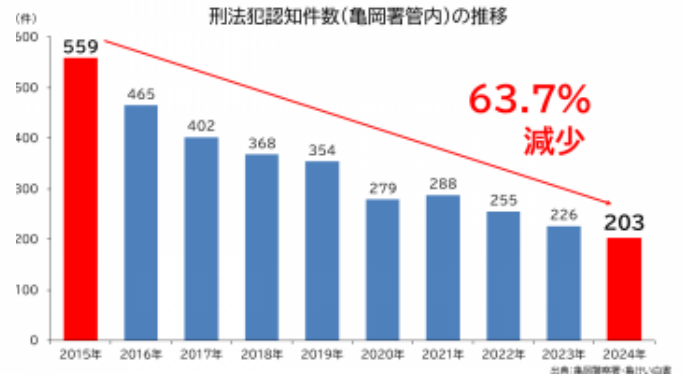
以上のように、回を重ねるごとに安全・安心の取組を発展させて実施してきました。



交通事故負傷者数(亀岡警察署管内)の推移



刑法犯認知件数(亀岡署管内)の推移



【参考・出典】

- 1) 亀岡市ホームページ セーフコミュニティについて <https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/15/2544.htm>
- 2) 亀岡市ホームページ 亀岡市の人口について <https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/17/77680.html>

■ 亀岡市の歴史・まちの姿 1)

京都市の西方約 20 km、京都府のほぼ中央に位置し、北は南丹市、東は京都市、南と西は大阪府に接しており、兵庫県とも近い距離にあります。

古代より丹波における政治、産業の中心地として栄え、安土桃山時代には明智光秀によって築かれた丹波亀山城の城下町として発展し、京都画壇の源流とされる円山応挙の出身地としても知られています。丹波地域の玄関口・中心地として、独自の都市圏を形成する自立性も併せ持っています。

周囲を山々に囲まれ、嵐山につながる保津川下りやトロッコ列車など、自然・景観を生かした観光産業で知られる一方、土砂災害が発生しやすい地形となっており、近年は大型化する台風や局地的な豪雨により土砂崩れや土石流、道路の崩落など甚大な被害が発生しています。また、市域を貫流する桂川の氾濫によりたびたび洪水被害が発生しており、大堰川の河川改修や上流の日吉ダムの整備により治水安全度の向上が図られています。

2014年5月に京都サンガF.C.のホームタウンとなり、2020年にはサンガスタジアム by KYOCERAという京都府立京都スタジアムが竣工し、多くのサッカーファンが訪問しています。

■ 亀岡市の人口実績・推計 2)

■ 亀岡市の人口推計

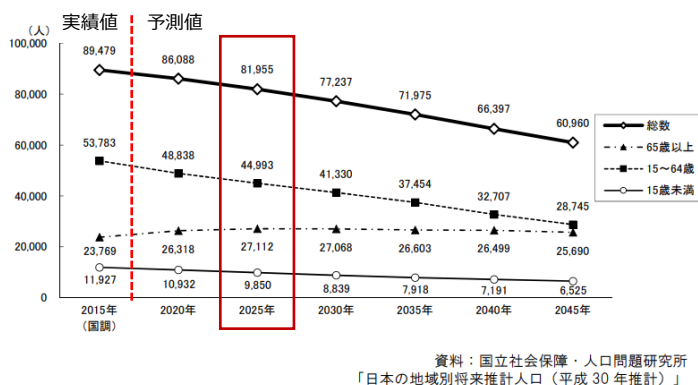


図1: 亀岡市の人口推計
(朱色点線・朱枠はSEEDS Asia追記)

■ 出生・死亡・転入・転出の推移

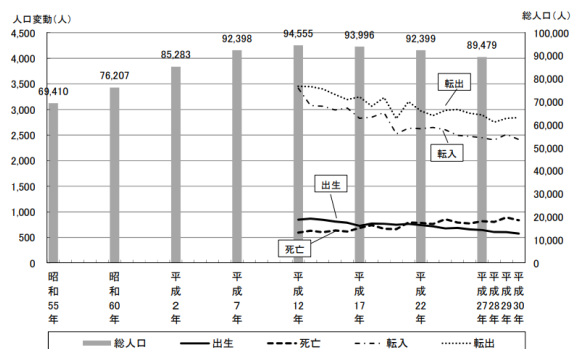


図2: 亀岡市の出生数・死亡者数・転入数・転出数の推移

- 亀岡市では全国に先駆けて減少。自然増減・社会増減のいずれもが減少。
 - 一方、人口維持に向けて第5次亀岡市総合計画に掲げる5つの重点テーマ(※)の取組を進めるとともに、地域の活力やにぎわいを支える人口を拡大するための施策として、昼間人口及び交流・関係人口の拡大について多面的な施策を展開している。
- ※①子育てしたい、住み続けたいまちへ ②スポーツ、歴史・文化、観光の魅力で産業が輝くまちへ ③世界に誇れる環境先進都市へ ④だれもが安心して暮らせる防災・減災、セーフコミュニティ、多文化共生のまちへ ⑤次代をリードする新産業を創出するまちへ

【参考・出典】

- 1) 亀岡市ホームページ 亀岡市の概要 <https://www.city.kameoka.kyoto.jp/uploaded/attachment/29244.pdf>
- 2) 亀岡市ホームページ 人口ビジョン（令和二年度改訂版）：<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/uploaded/attachment/9631.pdf>

■ 亀岡市教育大綱：第2次亀岡市教育振興基本計画¹⁾

基本理念：ふるさとを愛し 心豊かに 未来を共にきりひらく

亀岡市の教育は、「ふるさと」「共感」「主体性」を柱とし、生涯学習都市宣言に掲げる「人間の尊重」、「亀岡市民憲章」にうたう「平和と人権の根づくまち」に基づき、人権尊重を根幹に置く人間像を目指すものです。

亀岡の教育に関わるすべての人々のためめぬ営みを通して、亀岡の今、そして「未来を共にきりひらく」人々を育みます。



目指す子どもの力：

- ・ 主体的に学び、新たな課題に挑戦する力
- ・ ふるさとを愛し、持続可能な地域や社会を創る力
- ・ 自分の良さを知り、他者を尊重し共感できる力
- ・ 平和と人権尊重を基盤に3つの力をバランスよく育むこと

基本方針：

- (1) 未来教育の創造
- (2) 主体的に学び、新たな課題に挑戦する力を育てる
- (3) 自他を尊重し共感できる心を育てる
- (4) 魅力と特色ある学校づくり
- (5) 豊かな学びを支える教育環境整備
- (6) 人生100年時代を豊かにする社会教育
- (7) ふるさとの文化、歴史、豊かな自然を次世代につなぐ

亀岡市の教育の基本理念 概念図



② 児童生徒の安全確保

インターナショナル・セーフスクールの理念を踏襲し、安全で安心できる学校生活に向け、学校、保護者、地域等が連携・協力して子どもたちを見守る活動と子ども自らが身を守る力を育成する取組を推進します。また、亀岡市子ども見守りシステムの周知・啓発を図り、スマートフォンに専用アプリをインストールした移動基地局の普及に努め、犯罪等の抑止に繋がります。

通学路の安全対策については、亀岡市通学路等交通安全プログラムに基づく通学路等交通安全推進会議において、関係機関と連携して交通安全の向上に取り組みます。学校内については、学校安全対策協力員の配置などにより、学校安全対策の向上に努めるとともに、教職員の危機管理意識の高揚を図ります。

重点施策

- ・ 亀岡市子ども見守りシステムの利用促進
- ・ 亀岡市通学路等交通安全プログラムの推進
- ・ 学校安全対策事業の推進



市内の市立学校では、曽我部小学校が2015年（平成27年）10月3日にISSの初認証。2018年（平成30年）11月16日に再認証を受けている。

【参考・出典】

1) 亀岡市教育振興基本計画（亀岡市教育大綱）（二次元コード 右）
<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/uploaded/attachment/26269.pdf>

■ 篠町自治会について¹⁾

自治会概要

京都府亀岡市篠町をエリアとする自治会です。

人口 約1万9千人（亀岡市 約8万6千人）
面積 25.15 km²（亀岡市 224.80 km²）



上記の二次元コードから
篠町自治会のホームページに
アクセスできます



■ 亀岡暴走事故²⁾

2012年（平成24年）4月23日午前8時ごろ、京都府亀岡市篠町篠上北裏の府道402号で、18歳の無職少年が無免許で軽乗用車を運転し、集団登校中の小学生らの列に突入。3名（+ 胎児1名）が死亡、7名が重軽傷を負った。原因は30時間以上の連続ドライブによる睡眠不足と居眠り運転であり、少年は過去にも無免許運転の常習歴があった。

少年は自動車運転過失致死傷罪および道路交通法違反（無免許運転）で起訴。懲役5～9年の不定期刑が確定し、車を貸した友人は無免許運転幫助罪で逮捕。同乗し無免許運転をしていた少年らも含め、計6名が逮捕された。被害者が登校中の小学生と妊婦であったこと、事故原因が悪質な無免許運転と遊興による居眠り運転であったことから、社会的怒りも高まった。「なぜ無免許運転の常習者が再び車を運転できる状況だったのか」という制度上の穴が批判されたこと、学校・地域でも通学路の安全確保や見守り活動の強化の必要性が全国的に議論された。また、当時は「自動車運転過失致死傷罪」しかなく、無免許運転や飲酒運転といった悪質性は刑の重さに十分反映されにくかったことから、後の自動車運転死傷行為処罰法（2014年施行）制定の契機の一つとなった。

加えて、この事件では事故や刑事裁判の側面だけでなく、個人情報の取り扱いに関しても重要な問題が浮き彫りになった。事故後、警察や学校が加害者家族に被害者の個人情報を被害者家族の承諾なく提供していたことが判明。提供された情報には、被害児童やその家族の氏名や住所など、極めてセンシティブな内容が含まれていた。この行為は地方公務員法（守秘義務）違反容疑として関係者が書類送検された。事故直後の混乱期に、加害者家族からの「お詫びや接触」のための連絡先提供要請があり、一部の担当者が「人道的配慮」として提供したが、本人や遺族の同意確認を怠った。結果として、被害者遺族にとって二次被害ともいえる精神的苦痛を招いた。この個人情報漏えい問題は、交通安全や刑事法改正とは別の領域である被害者支援と情報管理の制度改善を促す契機となっている。

【参考・出典】

- 1) 篠町自治会ホームページ <https://shincho.heteml.net/xn--6oq253eo0fr6g55h.net/>
- 2) NHK京都 亀岡暴走事故から13年で法要 遺族が事故防止訴える <https://www3.nhk.or.jp/kansai-news/20250423/2000093477.html>
- 3) Weblio 亀岡暴走事故 <https://www.weblio.jp/content/%E4%BA%80%E5%B2%A1%E6%9A%B4%E8%B5%B0%E4%BA%8B%E6%95%85>



亀岡市での振り返り



亀岡市での振り返り



亀岡市での振り返り



亀岡市での振り返り



亀岡市での振り返り

お名前：

☐ 学校教職員 ☐ CS代表者 ☐ 行政関係者

キーワード

新たな知識・認識、印象に残ったこと

自分の学校・地域で実践したい/検討したいと思ったこと

講師としてご協力いただいた方々

ご所属	
一般社団法人 日本セーフコミュニティ推進機構 代表理事	白石 陽子 様

自治体	ご所属・職名	お名前
松原市	松原市教育委員会 教育長	美 濃 亮 様
	同上 学校教育部 次長	森 奏 様
	同上 教育推進課 課長	長尾 彰太郎 様
	同上 教育推進課 課長補佐	奥 長 栄 吾 様
亀岡市	亀岡市総務部自治防災課 セーフコミュニティ 係長	宮 川 泰 一 様
	同上 主任	泊 武 宏 様
	篠町自治会 元会長	井 上 邦 典 様

鳥羽市からの参加者一覧（24名）

管理職および教職員		参加者13名（敬称略）
学校名	職 名	名前
鳥羽小学校	校長	
答志小学校	教頭	
神島小中学校	教諭	
神島小中学校	主事	
神島小中学校	講師	
神島小中学校	講師	
菅島小学校	校長	
加茂小学校	校長	
安楽島小学校	教頭	
弘道小学校	校長	
鳥羽東中学校	校長	
鳥羽東中学校	主任	
加茂中学校	教頭	

学校運営協議会委員等		参加者 6 名 （敬称略）
学校名	役職名	名前
鳥羽小学校	CSD	
答志小・中学校	会長	
答志小・中学校	副会長	
菅島小学校	ディレクター	
加茂小学校	協議委員	
安楽島小学校	CSD	

鳥羽市教育委員会	役職名	参加者 3 名（敬称略）
	教育長	岩本 和也
	指導主事	濱口 真智子
	指導主事	中村 文典
総務課防災危機管理室	役職名	参加者 2 名（敬称略）
	副参事	寺田 慎
	副室長	澤田 将宏

資金提供団体・実行団体参加者一覧

認定NPO ジャパンプラットフォーム(JPF)	役職名	参加者1名（敬称略）
	地域事業部 休眠預金等活用事業 プログラムオフィサー	瀧田 真理
認定NPO SEEDS Asia (シーズアジア)	役職名	参加者2名
	事務局長	大津山 光子
	総務財務統括	中川 裕子

その他 確認・参考事項

1) 持ちものの確認

必需品

- ☐ しおり
- ☐ 筆記用具（ノート・ペン）
- ☐ 着替え
- ☐ 二次元コードを読めるスマホかタブレット・充電器
- ☐ 現金（夕食時の飲み物代は自己負担です）
- ☐ 熱中症対策
- ☐ 常備薬など（酔い止め・萬金丹・日焼け止め）
- ☐ 履きなれている靴

あと役立つもの

- ☐ 名刺（名札はSEEDS Asiaで準備しています）
- ☐ おやつ
- ☐ モバイルバッテリー
- ☐ 雨具・温度調節しやすい服
- ☐ エコバッグ（お土産を買う時など）

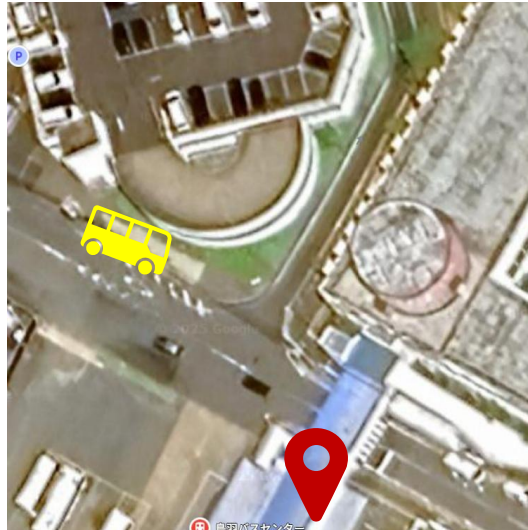
万が一のため

- ☐ 身分証明書
- ☐ 保険証
- ☐ 応急セット

その他 確認・参考事項

2) 集合場所

集合場所① 08:50

鳥羽バスセンター

8:55に駐車しているバスに移動し、乗り込みます

集合場所② 09:00

鳥羽市保健福祉センターひだまり駐車場

その他 確認・参考事項

3) お食事・宿泊

8月19日 昼食

8月19日 夕食

【大阪・仕出し 四季御膳 まごころ】

【がんこ 京都亀岡 楽々荘】

8月19日 宿泊

全館フリーWiFi/ 全員シングルルーム



シングルのお部屋でもベッドはダブルサイズ

客室備品：タオル、バスタオル、館内着、ドライヤー、テレビ、空気清浄機（加湿器付き）、電気スタンド、時計、ハンガー、洋服ブラシ、靴べら、消臭スプレー
客室アメニティ：歯ブラシ、カミソリ、ヘアブラシ、シャンプー、コンディショナー、ボディーソープ

【サンロイヤルホテル 亀岡駅前】〒621-0807 京都府亀岡市亀岡駅北1丁目7-7
TEL.0771-23-1126(代表) FAX.0771-23-1356

8月20日 朝食

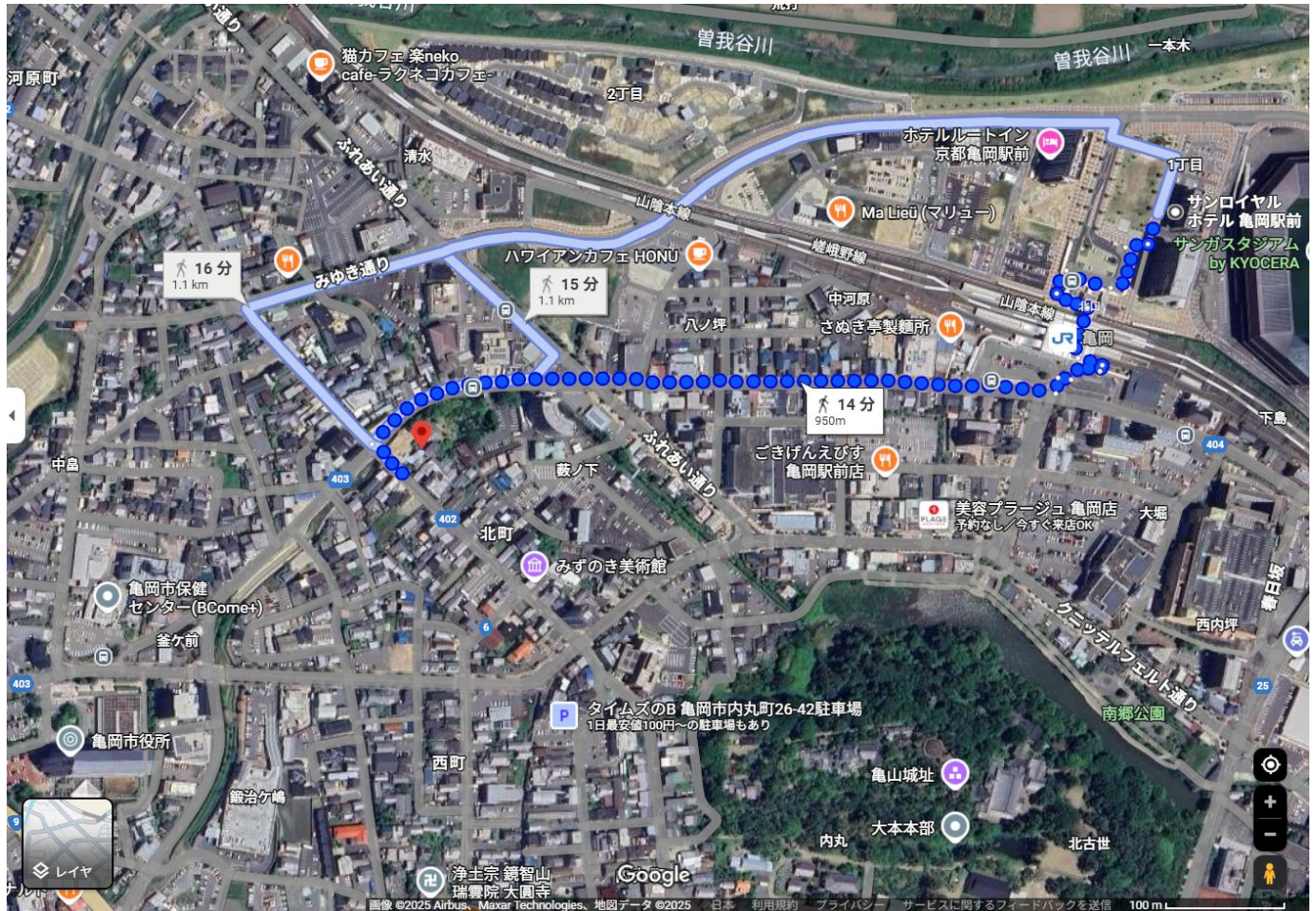
8月20日 昼食

宿泊施設の2階「きらめき亭」で
ビュッフェスタイルの朝食可能です
6:45～入場可能

【レストラン嵐山】

その他 確認・参考事項

4) サンロイヤルホテル亀岡⇄楽々荘（徒歩ルート）



19日は楽々荘で現地解散です。

翌朝はチェックアウトした状態で **8 : 30**にホテルの集合です。

視察中の緊急連絡先

緊急時の基本メッセージ

1. いつ（When）：発生日時
2. どこで（Where）：発生場所
3. 誰が（Who）：氏名、人数、安否
4. なにを（What）：事故・怪我・迷子・遅延など
5. どのように/どんな状況で（How）：現在の対応状況・求めること

連絡先

つながらなかったら次にかけてください

- 鳥羽市総務課防災危機管理室 澤田 将宏
- SEEDS Asia 大津山 光子

視察先の病院

- 松原徳洲会病院
072-334-3400
- 亀岡市立病院
0771-25-7313



本事業は、鳥羽市と認定NPO法人SEEDS Asiaが締結した協定に基づく共同事業「地域への愛着を基盤とした地域と学校の連携による学校安全事業」の一環として実施し、一般財団法人日本民間公益活動連携機構およびジャパン・プラットフォームによる支援を受けています。



2025年8月 発行